

# 内科 小児科 漢方 産科 婦人科 浮田医院 だより



第 84 号

医療法人 せゝらぎ会

発行所：浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

ホームページ: <http://www.ukita.gr.jp>e-mail: [kanpou@ukita.gr.jp](mailto:kanpou@ukita.gr.jp)

発行日：2009年8月5日(水)

発行者：浮田 徹也



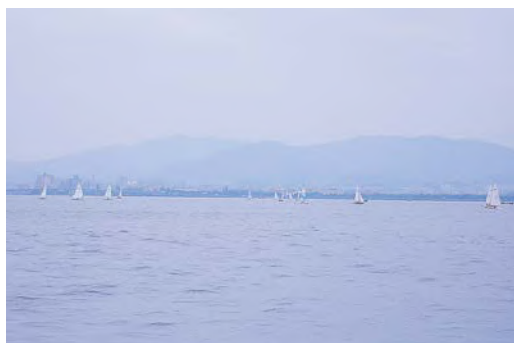
## 漢方薬のよさ(84) 夏ばてII



神農

今年の夏は短そうです。でも、暑いですね。先日、訪問診療に行った時のことです。ニチニチソウがプランターから庭のあちらこちらにあふれ、その美しい姿で私たちを出迎えてくれました。ほっとしたひと時でした。この可憐なニチニチソウはキョウチクトウ科に属し、抗腫瘍治療薬の原料になります。そのアルカロイドから、悪性リンパ腫、カポジ肉腫、神経芽細胞腫、乳癌などに使用されるビンブラスチン、急性白血病に使用されるビンクリスチン、黒色腫、肺癌などに使用されるビンドレシンが開発されています。びっくりされたでしょう、このような植物起源の薬は私たちの周りに沢山あります。やはり美しいものには「上げ」がありそうですね。

**夏ばて**のお話です。せせらぎ五十七号の続きです。日本では「注



琵琶 ヨット

夏病」と呼ばれ、明治大正時代に活躍した浅田宗伯先生は「夏の暑さと湿気で、手足のたるさ、体のほてり、胸のモヤモヤ感、尿の減少、軟便、食欲低下、止まらない汗・・・のため、体重減少・・・」と述べています。当院では、食欲不振(食物の味がしない、食事を

食べたくない)、お腹の膨満感、息切れ、ほてりあるいは寒気などを参考に薬を処方しています。夏の暑さや湿度の影響で、消化機能低下や睡眠障害に陥り、冷房の影響(室内外の温度や湿度の差)で自律神経に乱れが生じます。くれぐれもご注意ください。

実例を挙げてみましょう。

三十六歳女性(二人目)、妊娠中の浮腫(妊娠三〇週、下肢及び手指)、体重増加(非妊時より八kg)、便秘、食欲亢進、発汗亢進、胎児発育正常。顔色は紅潮、腹部弾力性正常、両側腹直筋緊張(一)、

両側臍傍抵抗圧痛(一)。脈は浮緊、数。舌は、紅色、薄白苔、乾燥。舌下静脈軽度怒張。そこで、五苓散+防己黃耆湯を処方。栄養士による食事指導と休養を指示。二週間後、浮腫やや軽減。一ヶ月後、

浮腫(一)。六週後、食事と休養を守れず、浮腫再発。そこで、入院を指示。厳格な食事療法と煎じ薬(桂枝、茯苓、白朮、沢瀉、猪苓、黄耆、防己、大棗、生姜)により

浮腫は消失。妊娠三十八で無事に出産(三二〇〇g)。産後一週間煎じ薬を服用。





三十五歳男性、**アトピー性皮膚炎**、乾燥肌、痒疹（全身）、滲出性丘疹（全身ジクジク）、便秘（四日毎）。顔色は両頬紅潮、赤黒く、腹部は緊張、胸脇苦満（軽度）、心下痞硬、臍傍抵抗圧痛（著明）、脈は沈、細、弦。舌は、紫暗紅色、薄白苔、乾燥、舌下静脈怒張。そこで、通導散十桂枝茯苓丸＋温清飲を処方。ステロイド軟膏一〇本。二週間後、不変。一年後、不変。一年半後、痒疹やや減少。ステロイド軟膏七本。排膿散及湯を追加。二年後、ジクジク著明に減少。同処方。ステロイド軟膏三本。三年後、同処方。ステロイド軟膏中止。現在漢方薬を継続中。

四十九歳女性、**更年期障害**、動悸、憂鬱、ほてり、冷え（足）、めまい、便秘（二日毎）、腰痛、頭痛、肩こりで来院。顔色はやや青白く、腹部は軟らかく、臍傍に抵抗と圧痛。脈は沈、遅、細。舌は、暗紅色、薄白苔、乾。子宮、卵巣正常大。貧血（一）、ホルモン値正常（閉経（一））。そこで、芍帰調血飲第一加減を処方。一ヶ月後、ほとんどの症状が改善。六ヶ月後廃薬。

五十二歳女性、**三叉神経痛**（顔面

痛）、一六〇cm、六十二kg、肩こり、頭痛、便秘（三日毎）。他院での診察で、ヘルペス、頭部腫瘍など否定された。顔色良好、食欲良好。お腹は硬く、胸脇苦満、心下痞硬、両側腹直筋緊張、脈は浮、緊、実、滑。そこで、大柴胡湯十五苓散＋修治附子末を処方。二週間後、顔面痛やや改善。3ヶ月後、ほぼ改善。その後、服薬している方が体調がよいと継続中。

二十九歳女性、**夏ぼて**、微熱、軟便、食欲低下、顔のほてり。顔は青白く、腹は軟らかく、胸脇苦満（軽度）、胃内停水、心下痞、臍上悸、脈は浮細数。舌は紅色、乾白苔。そこで、補中益気湯加五味子、麦門冬を処方。二週間後、微熱、軟便、食欲、ほてりなどの症状が改善。更に、二週間服用して廃薬。

次回は、**妊娠中の浮腫**！です。

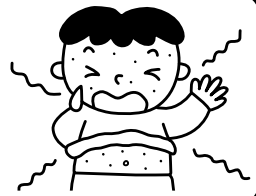


〔院長〕



## アトピー性皮膚炎

大人や子供のアトピー性皮膚炎の漢方治療をしています。大人には、清熱剤、利水剤、駆瘀血剤を中心に皮膚の熱や水や感染を調整、子供には虚弱な体質（胃腸虚弱）を改善し、アレルギー体質の治療を実施しています。その他、漢方外用薬、漢方入浴剤なども処方し、かかさ、ジクジク、痒みなどの苦痛から解放できるようお手伝いしています。



## 更年期障害

女性ホルモンが不足し始めると、それまでと違い、筋肉、血管、関節、骨などの弾力性が低下し、心も体もかたくなり、人との係りや環境に敏感になってきます。息抜き（のびのびさ、ストレス解消）、骨盤体操などもお勧めしながら、当院は漢方薬を中心の治療を実施しています。また、ご希望の方には、女性ホルモンの値を調べホルモン剤も処方します。



## 三叉神経痛

突発する激しい顔面の一側性の痛みで、疼痛発作が反復し出現。この痛みは、会話、食事、洗顔、化粧などにより誘発。原因は、微小血管による三叉神経の圧迫。疼痛は2～10秒で、やや女性に多く、腫瘍や感染や外傷が原因のこともあります。治療は内服薬（西洋薬や漢方薬）ですが、無効の場合、神経ブロックや微小血管減圧術でようなることもあります。



## 当院の漢方治療



### 剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイプ**の漢方薬と顆粒**タイプ**の漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。**40～60分煮**で作ります。  
当院の**顆粒タイプ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、**しっかり蓋**をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)**で保管して下さい。  
漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器** (無料) をご利用下さい。

### 適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患  
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膀胱炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患  
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

### エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症 ・ 程度の病氣：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病氣、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

### 女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膣分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

### 骨量測定(4～6ヶ月ごと)

**1分で測定**(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

### 予約ー漢方外来

土曜日の午後、予約・漢方外来があります(予約制、2回/月)。日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

### アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏 ・ 太乙膏 ・ アガリクス
- ・メシマコブ・靈芝 ・ A H C C ・ サメ軟骨

### 漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

### 健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、早急に受付に連絡して下さい。

### 在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。往診と違い、**定期的に(月に2～12回)訪問診療**を行い、患者さんの健康を管理します。  
**在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。**

### スーパーライザー(神経照射)

**赤い温かい光(近赤外線)**で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス・・・などの治療に利用しています。

### 皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、膝関節痛、腰痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

### 処置診(処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザー)

**診察券**を入れ**受診者名簿**に、**氏名**を書き、**処置**の欄にチェックして下さい。

## 外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	○	○	○	○	○	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

- ◇漢方外来 (月～土): 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。
- ◇予約-漢方外来(2回/月 土曜日): 午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分、3時40分～4時 電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)
- ◇更年期外来(月～土): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)
- ◇不妊 外来(月～土): 赤ちゃんの欲しい方 (ご夫婦でもお越しになれます)
- ◇妊婦 外来(月～土): 妊婦健診、妊娠中の方
- ◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診
- ◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ 電話予約可

## 前期と中期-母親教室

日時: 平成21年9月12日、10月17日の各土曜日

対象: 妊娠7ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約をお願いします。\*ご主人様もお気軽にご参加下さい。立会い分娩ご希望の方は 特にご参加をお勧めします。(申し込みノートにお名前記入をお願いします)

## 後期-母親教室

日時: 平成21年8月19日(水)、29日(土)、9月9日(水)、19日(土)、30日(水)、10月10日(土)、21日(水)、31日(土)

対象: 妊娠8～10ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

## 母親教室のお知らせ

母親教室では、“母と子のてびき”にそって、お話をすすめています。参加時には母子手帳とともに、忘れずにお持ち下さい。“母と子のてびき”は、分娩予約時に受付でお渡ししています。

ご主人と一緒に参加される場合は、必ず申し込みノートに予約の記入をお願いいたします。



## 賀川玄悦

1700年、彦根で生まれた。庶子のため、賀川を名乗った。初め鍼灸と按摩を学び、後に古医方と産科を独学。「上腎下首」(頭位)を初めて唱え、難産の時の回生術(鉄鉤法、切胎術)で多くの産婦の命を救い、鉗子分娩も考案した。玄悦は古鉄鉤器の経験を助産術の考案に役立てたことになる。「子玄子産論」(全四巻、1776刊)や附録「子玄子治驗四十八則」には、つわり、腹帯の影響、妊娠継続期間などについても詳しく述べている。



## 分娩予約

妊娠24週までに受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カードと予約金10万円**が必要です。予約された方には、**母と子のてびき**をお渡しします。

## 正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。分娩希望の方はすべて受け付けています。

パソコンホームページ (<http://www.ukita.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)  
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)  
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)  
老人医療のページ(在宅療養の支援)  
健康のページ(健診、プライマルチェック、予防接種)  
当院の施設案内、当院への交通(車、J R)

## 産後相談 母乳相談 (助産師)

産後相談と母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。日程は掲示板やホームページでお確かめください。(電話予約可)

## 里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受付ています。妊娠24週ころ(母体と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においでください。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

## 産後健診と赤ちゃん健診

産後健診と1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

## ベビーと幼児の診察

出産後、お子様が風邪などをひかれた時はまた、上のお子様も風邪をひかれた時は、お越しください。診察いたします

## 入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー……など、絶えず工夫し研究しています。

## 産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院でお産される方に、10月より登録証を発行する予定です(妊娠5ヶ月ころ)。詳細は受付でお聞きください。